

就農準備資金・農業次世代人材投資事業  
全国型教育機関としての就農サポート体制

教育機関名： 学校法人伊東学園テクノ・ホルティ園芸専門学校

(1) 就農に向けた相談体制

1) 相談窓口

- ・花き生産コース コース長 萩原文雄
- ・野菜生産コース コース長 湯本達夫、齋藤仁
- ・生産に関わる指導職員及び教務担当、広報担当職員

2) 相談対応方法等

- 研修期間中及び研修終了後の就農相談を実施する。
- ・対象者の就農希望を把握し、本人の技能、業務内容に適合した就農先の紹介。
  - ・就農後の経営・技術に関わる相談への対応を行う。
  - ・定期的開催する教務会議、職員会議において就農に向けた活動状況、就農の進捗状況について情報交換を実施し、就農促進を図る。

(2) 就農・定着に向けたサポート内容等

1) 就農に向けたサポート（就農先の紹介・マッチング等）

ア 県内外の農業法人を招いた就職ガイダンスを開催し、学生の希望と企業のマッチングを実施する。

イ 定期的に個人面談を行い学生の意向を確認し就農先の紹介を行う。

ウ 技術指導・販売支援の実施

- ・就農に向け、野菜・花き担当教諭が栽培の基礎から作目ごとの専門技術について指導及び支援を行う。
- ・野菜・花きの出荷調整技術及び農産物直売所、ホームセンター等を活用した販売技術の指導・支援を行う。

エ 生産現場実習

1年次生は11月に、2年次生にあっては5月と11月の年2回にわたり、各自が志向している野菜・花き生産の先進農家、農業法人に出向きインターンシップを実施す

る。実施にあたっては、受け入れ先の選定、依頼、実習期間中の巡回等の指導・支援を実施する。

2) 就農後の定着に向けたサポート（地域関係者との連携・フォローアップ）

ア 就農先企業の人事担当者や県・市町村関係機関と連携し就労状況の把握、問題解決相談を行うなど定着に向けたサポートを実施する。

イ 親元就農者については、就農後の就農状況把握と問題解決相談を随時実施する。

ウ 独立・自営就農者については、県・市町村・農業委員会等と連携し経営開始に必要な農地の取得や経営資金の調達などのフォローアップを行う。